

# 切除不能/再発

# DTX+ラムシルマブ療法レジメン

非小細胞肺癌 ドセタキセル+ラムシルマブ療法レジメン

LC-42

総コース数

<21日間隔・PDまで>

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5~21日目	第22日目
治療内容							
検査	採血	○					○
	尿検査	△					△
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①好中球数 1500未満 ②血小板 10万未満 ③発熱・CRP上昇 ④AST/ALT>2.5+ULN ⑤2.5mL以上の鮮血の喀出 ⑥Grade2・3の肺出血/喀血 ⑦消化管穿孔 ⑧たんぱく尿 1日2g以上 ⑨症候性のG2、またはG3の高血圧 ⑩瘻孔 ⑪静脈血栓症 ⑫手術予定 ⑬鬱血性心不全 ⑭PS 2以上						
点滴	①生理食塩液 100ml +デキサート 3.3mg 2A +ポララミン5mg 1A 点滴静注【30分】	↓					↓
	②生理食塩液 250ml +サイラムザ 10mg/kg 点滴静注【1時間】 フィルター付きルートで	↓					↓
	③生理食塩液 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	④生理食塩液 250ml +ドセタキセル 60mg/m <sup>2</sup> 点滴静注【1時間】	↓					↓
	⑤生理食塩液 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓

※<<減量基準>>

2g/日以上の蛋白尿発現回数	サイラムザ投与量
0回	10mg/kg
1回	8mg/kg へ減量
2回以降	6mg/kg へ減量

	ドセタキセル
初回	60mg/m <sup>2</sup>
1段階減量	50mg/m <sup>2</sup>

## 看護のPoint!!

ドセタキセルは血管外漏出すると大変!!点滴中は漏れてないか確認。

万が一もれていたら マニュアル参照

副作用は、脱毛、骨髄抑制、浮腫が起こりやすい

投与中に過敏症状が起こることがあるので、投与終了までは、患者の状態を十分に観察すること。

吐き気は少ないので、アロキシはなし。

サイラムザの投与速度に注意。頻度が低いアレルギーに注意。